

# 第1号議案

## 平成20年度 千葉県自閉症協会活動報告

### 全般的活動（会長：大屋）

千葉県自閉症協会を設立し3年度目になり、「千葉県自閉症協会」の名称が県内県外に広く浸透してきました。成人の会員が増加しつつあることを鑑み、成年後見や権利擁護についての取り組みを進めました。

1. 千葉県自閉症協会と17の市・地区自閉症協会との密接な協力体制を作りました。地区会に所属している会員総数は21年4月時点で〇〇〇〇名になりました。
2. 千葉県の健康福祉、特別支援教育行政担当者と緊密に意見交換を行いました。
3. 千葉県、及び千葉市の委員会等に委員として、下記の役員が参加しました。

千葉県障害のある人の相談に関する調整委員会 古屋 道夫

障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例推進委員会 大屋 滋

第四次千葉県障害者計画策定作業部会 佐藤 彰一 松井 宏昭

障害児の療育・支援体制のための研究会 坂本 秀美 松井 宏昭

障害のある人の権利擁護のための研究会 佐藤 彰一

千葉県発達障害者支援センター連絡協議会 大屋 滋

千葉県移行等支援事業検討会議 松井 宏昭

千葉県人権施策推進委員会 大屋 滋

袖ヶ浦福祉センター強度行動障害入退所審査等審議会 大屋 滋

千葉県広域特別支援連携協議会 大屋 滋、竹蓋 伸六

千葉県アビリンピック推進会議 大屋 滋

4. 地区会との緊密な連携を行い、千葉県自閉症協会の運営を行いました。

1) 1、2ヶ月に1回の頻度で、理事会を開催しました。

2) 役員メーリングリストを活用して、迅速な情報と意見交換を行いました。

3) 会員宛のニュースレター№30、31、32、33、34を発行しました。

5. 自閉症啓発デーのイベントを実施しました。（21年4月1日、2日）

6. 啓発チラシを作成しました。

7. 日本自閉症協会の活動へ参画しました。

理事：白水幹久

代議員：大屋滋

出版部委員：古屋道夫、朝倉潤一、協力員：神成京美

共済事業ASJ互助会給付委員長：坂本秀美

共済事業ASJ互助会推進委員：矢作貞代

ペアレントメンター電話相談委員 細田 智子、坂本 秀美

総会、理事会、支部役員連絡メーリングリストなどで、協会の活動、運営体制、組織改革について積極的に意見や要望を行いました。

8. 関東ブロック会議及び、メーリングリストの運営に参画しました。関東ブロック内での意見や情報の交換を行いました。

9. 他の都道府県の、自閉症協会支部、発達障害支援センター、医療・教育・福祉など団体の依頼を受け、講演や研修などの活動を行いました。
10. 千葉県血清研究所記念保健医療福祉基金調査研究事業、厚生労働省障害者保健福祉推進事業に参加しました。

## 各部局活動報告

### 事務局

#### 1. 千葉県自閉症協会感謝の会

これまで40年以上にわたり千葉県支部を支えていただいた関係者の皆様に感謝し、千葉県支部に代わって千葉県内の自閉症児者支援を一身に担う当協会の今後の活動に、これまで以上のご支援をお願いするセレモニーを平成20年5月25日(日)幕張ニューオータニ舞の間にて開催しました。

#### 2. JR 東日本労組「列車のたびプレゼント」

平成20年10月11日(日)、JR 東日本労組のご好意により、恒例の「列車のたびプレゼント」に30組60名の当協会会員親子が招待され、内浦山県民の森までの貸切列車のイベントを満喫しました。

#### 3. 自閉症啓発活動

- 1) 世界自閉症啓発デーに関連して、平成21年4月1日、2日の二日間、千葉市きぼーる1階アトリウムにおいて『世界自閉症啓発デーIN 千葉「みんな大切な仲間です」』を開催しました。
- 2) 自閉症啓発チラシを作成しました。
- 3) (社)日本自閉症協会の自閉症啓発キャンペーンに協力し、ASJ 作成のDVD「自閉症の子どもたち」を販売し、その売上利益1,676円を(社)日本自閉症協会に寄付しました。

#### 4. 地区自閉症協会支援

##### 1) 後援承認

11月15日 我孫子市自閉症協会、柏市自閉症協会、流山市自閉症協会、野田市自閉症協会主催の講演会「発達障害者の就労支援について～私たちが支援すべきこと～」を後援しました。

2) 会員名簿取り扱い指針を策定し、各地区自閉症協会に付議しました。

3) 理事会において、各地区協会の活動について情報交換し、活発な意見交換をしました。

#### 5. ASC 組織・事業検討

ASCの組織や事業内容について検討する委員会を立ち上げ、平成20年10月18日に第1回の意見交換会を開催しました。

#### 6. 成壮年自閉症問題研究会

本研究会は自閉症者の加齢化及び親の高齢化に伴う諸問題について取り組むため、平成19年度に活動を開始し、20年度は研究懇談会を5回開催しました。テーマとして成年後見制度、親亡き後のための本人記録(他団体作成例)、自閉症者ケアホームの実際、成人自閉症者の医療と生活支援、などについて取り組みました。

## 総務部

1. 日本自閉症協会「いとしご」「かがやき」直送会員名簿作成と管理、及びそれに伴う千葉県地区自閉症協会との入・退会、訂正受付業務と入会金の管理。
2. 千葉県自閉症協会団体会員・支援会員の入・退会受付と会員への連絡。
3. 会員・団体の個人情報保護管理の徹底。
4. 県・国庫補助金申請事務業務。
5. 日常の金銭出納及び会計帳簿、伝票等諸証書、預金通帳の管理等金銭管理業務。  
担当者 一般会計 渡邊政志 特別会計 山村さとみ
6. 親子の旅事業の事務処理と11月23日 日帰り親子遠足（養老溪谷）の実施。

## 広報部

1. 広報誌「みち」73号を平成20年5月13日に2,850部、「みち」74号を平成21年1月29日に2,720部発行しました。
2. 千葉県自閉症協会のホームページ(<http://www.interq.or.jp/japan/aschiba/>)をリニューアルし、適時の情報発信を行いました。
3. 会員用メーリングリストを管理、運営しました。
4. 千葉県自閉症協会定例講演会（「成年後見制度の活用」平成20年10月18日）講演記録を作成し、「みち」74号に掲載しました。
5. 千葉県自閉症協会各地区協会の活動のスライドショーを編集し、感謝の会の会場で紹介しました。

## 事業部

1. 千葉県自閉症協会講演会  
平成20年10月18日（日）千葉県青少年女性会館において、成壮研との共同で講演会を開催しました。  
テーマ：成年後見制度を活用して将来に備えるために  
講師：佐藤彰一氏（法政大学大学院教授、PAC ガーディアンズ理事長）  
小川祐二氏（社会福祉士、PAC ガーディアンズ理事）  
参加者：77名

## Willクラブ事業部

1. 定例会 11回  
4/15、5/12、6/9、7/14、9/8、10/6、11/17、12/8、1/19、2/16、3/2
2. 講演会、勉強会
  - 1) 講演会（CASとの共催）  
7/6 「社会生活に向けて幼児期からできること～集団生活・学校教育の現場で教育を受ける前に、家庭や幼稚園（保育園）で身につけておくと良いスキルとは？～」  
講師：井上 雅彦氏（鳥取大学医学部 教授）
  - 2) 勉強会  
6/23 「高機能自閉症・アスペルガー症候群の基礎的な知識・支援－幼児・学齢期を中心に－」  
講師：田熊 立氏（千葉県発達障害者支援センター副センター長）  
10/20 「高機能自閉症・アスペルガー症候群の成人期支援の実際－相談事例を交えて－」

講師：與那嶺 泰雄氏（千葉県発達障害者支援センターセンター長）

2/9 子ども達を取り巻くインターネットの常識

講師：小荒井 順氏（e-ネットキャラバン派遣講師）

助言者：市岡 武氏（沼南育成園生活支援ワーカー）

3. 余暇支援

1) レッツゴークラブ

5/25 東武博物館（墨田区向島）

7/27 科学技術館（千代田区北の丸公園）

9/28 千葉県立中央博物館（千葉市）

11/23 紙の博物館&都電思い出広場（北区王子）

3/20 地下鉄博物館（江戸川区東葛西）

2) アリスのお茶会（女の子限定）

4/6 いちご狩りとお花見会（市川市）

7/20 葛西臨海公園&鳥類園（江戸川区臨海町）

11/9 女性と仕事の未来館（港区芝）

2/1 湯めぐり万華鏡（浦安市）

3/29 お花見会（佐倉市）

3) 親子の旅事業

12/20～21 もちつきキャンプ（柏市 手賀の丘少年自然の家）

4) 鉄道部

4/4 ぐるり千葉 鉄道の旅

8/30 ぐるり富士山 鉄道夏の旅

1/12 日本一のモグラ駅 土合駅（上越線）の旅

4. グループセッション（松戸ふれあい22にて計10回）

5/23、6/13、7/11、9/12、10/10、11/14、12/12、1/9、2/13、3/13

5. 家庭学習支援プロジェクト

4/15、5/12、6/9、7/14

8/6・8/24 夏休みの宿題お助け企画（勉強会、工作会＝沼南育成園）

12/15 学習座談会、

3/9 来年度の参考書を見つけに行こう（船橋ららぽーと）

6. その他

2/15 日本自閉症協会 高機能自閉症&アスペルガー症候群ネットワーク会議（栃木）参加